

## 【2023年度 事業計画】

### I 事業の実施方針

気候の危機は、ますます深刻さを増し「気候の時限爆弾の時を刻んでいる」とグテーレス国連事務総長が、IPCCの第6次評価報告書・統合報告書の公表を受けて、メッセージを出しました。そのメッセージでは「1.5°Cに抑える可能性はあり、そのための飛躍的な気候アクションが必要である」とも述べています。私たちにとって、気候危機を回避できる残された時間は多くはありません。

国内では、閣議決定されたGX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方針案・脱炭素電源法案は、原発の稼働期間延長や、化石燃料使用を長引かせるような技術に依存させる内容で、エネルギー政策が誤った方向に導かれています。気候変動・エネルギー政策の抜本的な見直しが求められます。

地域レベルでは、脱炭素先行地域として46ヶ所が選定され、京都市もその中の一つとなっています。その計画では文化遺産や大学、商店街などに再生可能エネルギーを導入することが盛り込まれています。京都を含めて脱炭素先行地域の多くが再生可能エネルギーを増やし、地域課題解決と、より豊かな地域づくりに貢献していくことが期待されています。企業や大学、民間団体等でも再生可能エネルギー設置と再生可能エネルギー100%電気の使用に向けての取り組みが進み始めています。

このような状況を踏まえて、2023年度もきょうとグリーンファンドが取り組んできた活動を継続して、多くの人々や団体と連携しながら、社会の課題解決と脱炭素地域づくりにつながっていく、おひさま発電所づくりに取り組んでいきます。

- ① 脱炭素をめざす枠組み「市民再エネプロジェクトin京都」で、おひさま発電所設置拡大を軸に、さらに再生可能エネルギーの普及に努めます。
- ② 市民と共に再エネ100%をめざす新電力と協力・連携し「おひさまでんきプロジェクト」として再生可能エネルギーを広げていきます。
- ③ 環境問題への関心を深め、具体的な行動に結びつけるための環境学習を広げます。
- ④ 上記の活動を達成するため、会員の拡大に努めます。
- ⑤ 認定NPO法人の制度を活用し、さまざまなセクターからの理解を得ながら、財政基盤の強化に努めます。
- ⑥ 企業の理解、協力を広げるためのさまざまな取り組みを進めます。

### II 特定非営利活動に係る事業

#### 太陽光発電設備設置事業

- ・「市民再エネプロジェクトin京都」として、NPO法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO法人エコネット近畿、認定NPO法人きょうとグリーンファンド5つの団体が連携した枠組みで「おひさま発電所」の設置に取り組めます。
- ・寄付、おひさま基金からの助成、設置協力金、補助金などを組み合わせた仕組みで、さらに設置施設の拡大をめざします。
- ・「おひさま基金」の基盤強化に努めます。
- ・2023年度は、左京区の学校法人下鴨学園下鴨幼稚園と南区の社会福祉法人ののはな会

吉祥院こども園に設置を進める予定です。

### おひさまでんきプロジェクト

新電力会社は、今冬の時代です。顧客情報の不正閲覧や電力カルテルなど自由化を踏みにじる大手電力会社の背信行為が明らかになっています。こうした不正行為の中で再び送配電会社の「公営化」が脚光を浴び、「所有権分離」問題が課題に登ってきました。日本の閉鎖的な電力体制を切替えるチャンスかもしれません。

新電力は厳しい状況ですが、再エネを拡大させるためにも再エネ新電力を支え協力していくことは大変重要です。「おひさまでんきプロジェクト」を進めることがその一歩になると確信します。値上げという事態も「将来への投資」だと冷静に受け止め、共に支え、理解しあえる協力者を一人でも増やすための努力をいたします。

### 学習活動

コロナ禍もようやく収束が近づいてきたようですので、**2023年度**は積極的に環境学習の実施を呼びかけていきます。毎年の保育園、幼稚園での環境学習はもちろんのことですが、引き続き、気候危機に対する防災の観点から「おひさま発電所」設置施設には太陽光発電の災害時の自立運転の仕方などの職員研修の実施を勧めます。設置していない施設には水についての学習、雨水タンクの設置等の環境学習をきっかけに「おひさま発電所」実現につながるよう働きかけます。

今年度の環境学習としては以下の活動を行います。

- ① 子どもたちに向け、環境腹話術、自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 日常の遊びの中での環境学習としての「エコすごろく」の貸し出しを進めます。
- ③ 環境への意識改革と行動を促す内容の職員研修を実施します。(以下 テーマ例)
  - ・職員向けの自然観察会
  - ・エコすごろく作りワークショップ
  - ・パペットシアターのシナリオ作りワークショップ
  - ・省エネワークショップ
  - ・災害時の避難施設としての「おひさま発電所」の自立運転の仕方、活用方法などをレクチャーすると同時に防災の観点からの学習会
- ④ 雨水タンクの設置を通じて、水や防災について学習をします。
  - ・紙芝居等を通じて、子どもたちに雨水のめぐみを伝えます。
- ⑤ 環境学習の機会をとらえて「おひさま発電所」の見学会を実施します。

### サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センター(以下いきセン)に対する環境活動のサポート
  - ・いきセンと協働して継続してきた上鳥羽地域での環境活動のサポートも9年目となり、地域住民を巻き込んだ形で、新しい取り組みも始まっています。募集中の「上鳥羽エコまちくらぶ」の「上鳥羽エコメイト」とともにエコ活動をサポートしていきます。
  - ・いきセンの太陽光発電設備を活用して、「エコと防災」をテーマに、地域住民とともにセミナーを開催します。
  - ・地域団体の各種イベントの機会をとらえ、環境についての関心を高め、行動につながるよう働きかけます。
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイス

## 広報活動

- ① ニュースレター「ぐりふあんレター」の発行  
年2回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動、温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員、一般市民に提供します。
- ② 各種催しに参加  
環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ③ ホームページ、Facebook、Instagram などを使った情報発信  
きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。
- ④ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふあんチャンネル」の充実を図ります。

## 協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・NPO法人京都地球温暖化防止府民会議（京都府地球温暖化防止活動推進センター）
- ・NPO法人エコネット近畿
- ・NPO法人KES環境機構
- ・一般社団法人市民エネルギー京都
- ・一般社団法人上鳥羽絆会
- ・公益財団法人パブリックリソース財団
- ・京エコロジーセンター（京都市環境保全活動センター）
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・京都市ごみ減量推進会議
- ・京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・パワーシフト・キャンペーン
- ・京都市市民活動総合センター
- ・自然エネルギー学校・京都
- ・Fridays For Future Kyoto
- ・国際ソロプチミスト京都ーみやこ・わかば
- ・SoftBankつながる募金
- ・有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・ネオス株式会社
- ・太陽ガス株式会社（代理店：Happy Energy）

以上の団体と協力、連携します。